

市役所本庁舎および市民会館の建設に向けて

市民会館の建設に向けて

建設工事の受注者が決定

秩父市役所本庁舎および秩父宮記念市民会館建設工事については、市報1月号で仮契約を締結したことをお伝えしましたが、昨年12月市議会定例会の議決を経て、本契約を締結しました。

受注者は「大成・高橋特定建設工事共同企業体」で、契約金額は51億3,864万円（税込）です。（工事概要については、市報1月号または市HPをご覧ください。）

建設工事契約までの経緯

この建設工事については、昨年5月に最初の入札（23日、26日、27日いずれも2者応札）を行いました。しかし、予定価格を上回り落札とはなりません。その後、コスト削減のため地中熱利用設備を取りやめ、実勢価格に合わせた積算をし直し、昨年10月市議会臨時会で予算増額後、11月に再入札（25日3者応札、26日2者応札、27日1者応札）を行いました。落札とはなりません。

その後、最低入札価格の業者と協議を行い、見積書の提出を求めた結果、予定価格の範囲内であつ

たため、随意契約の方法により契約を締結しました。この随意契約は、地方自治法施行令に規定されており、予定価格や条件、工事の内容を変更することなく行ったものです。

施設の概要

市役所本庁舎および市民会館は設計に基づいて建設工事が進められます。改めて設計の主な特徴についてご紹介します。



市民会館エントランスホールイメージ

まず、防災拠点となる施設として耐震構造（I類）という構造を採用しています。これは、市内では消防本部庁舎と同じ耐震構造です。

庁舎部分の1階には市民サービス窓口を配置する計画で、庁舎の面積はコンパクトにしつつも、以前の本庁舎にはなかった相談ブースやキッズスペース、授乳室ができる計画です。また、多目的トイレにはオムツ交換等で大人でも使用できるベッドを設置します。

市民会館は、1階エントランスからそのままホール客席へ入ることができるようになっています。市民会館にも多目的トイレや授乳室を設け、親子鑑賞室もできる予定です。トイレの数も、以前の市民会館より増やします。

施設全体はバリアフリーとなっており、階段なども広くゆるやかで、皆さんに利用しやすい施設となります。

今後の予定

建物の工事は、下記のとおり平成28年12月までを予定しています。工事の進捗状況については、市報、市HP等で随時お知らせしま

平成27年1月現在

【工事スケジュール】

	平成26年度			平成27年度												平成28年度											
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
準備・山留工事																											
掘削工事																											
基礎・躯体工事																											
躯体関連設備工事																											
内外装工事																											
仕上関連設備工事																											

・山留（やまどめ）…地盤を掘削するとき、支持材などを用いて周囲の地盤が崩れないようにすること
 ・躯体（くたい）…柱、梁、壁、床など、建物の主要な構造体のこと

す。工事期間中、ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

市役所本庁舎等建設推進室

☎ 26-6872

建築住宅課（工事に関すること）
 ☎ 26-6869